

① 学習指導案

プログラム	No.8 わたしたちのまちに言葉の贈りもの
単元名 (全10時間)	わたしたちの好きな風景～俳句を添えて～ 長瀬のお気に入りの場所を写真と俳句で紹介しよう
学習のねらい	・身近な景観に目を向け、自分の住むまちのよさに気づく。 ・自分の住むまちを俳句に表すことで、よさを再確認する。
学習内容	1 学校周辺の長瀬地区を散策して、友達や後輩、地域の方に紹介したいと思う景観を見つけ撮影する。 2 写真をもとに俳句を詠む。 3 全員で見つけた写真と俳句が載った作品を作成する。 4 修学旅行先で好きな景色を見つけて、地元と比べながら、地元のよさをさらに実感する。 5 地元の歴史や素晴らしい風景を扱った劇を表現して、地域の方に発信する。 6 写真や俳句を整理し、地域の魅力パンフレットの構成を考える。 7 出来上がった作品・パンフレットを見合い、感想を交流する。
参考資料 準備品 実施場所等	・タブレットPC ・長瀬小学校周辺（二の堀、西の法印様、多数の神社・お寺 など） ・児童自宅周辺

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
2時間	1 学校周辺の散策をして、友達に紹介したいと思う景観を見つける。	・県土利用政策課による出前授業を想起させ、身近な風景の中から共有したい景観に目を向けられるようにする。 ・観光名所のようなものに留まらず、そこに住む人たちの歴史や生活が意識できるようにする。	・自分の思いをもって撮影対象を決めることができる。
2時間	2 写真を元に俳句を詠む。	・その景観に対する自分の思いや思い出などが具体的にできるよう助言する。	・景観から発想し、自分の思いを俳句にまとめることができる。
1時間	3 全員で見つけた写真と俳句が載った作品を作成する。	・学習発表会の時期と合わせて、全校児童の写真と俳句を掲示し、地域の方にも見てもらう。	・一人ひとりが見つけたよさを作品作成で表現することができる。
1時間	4 修学旅行先で好きな景色を見つけて、地元と比べ	・地元とは違う景色に目を向けさせ、雰囲気の違いやよさの違いに気付かせ	・地元とは違う景色のよさや雰囲気

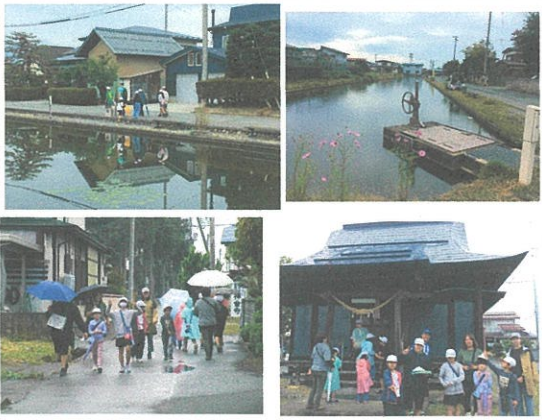
	ながら，地元のよさをさらに実感する。	る。 ・比較させながらも，それぞれの，地元は地元のよさがあることに気付かせる。	の違いに気づき，地元のよさに気づくことができる。
1時間	5 地元の歴史や素晴らしい風景を扱った劇を表現して，地域の方に発信する。	・景観出前授業で学んだ「景観」という視点と関連付けながら，地元をより好きになれるよう声かけ・指導する。	・実際の体験をもとに，心を入れて演じたり，よさに気づいたりすることができる。
2時間	6 写真や俳句を整理し，地元の魅力パンフレットの構成を考える。	・紙面を構成する際に，写真と俳句で自分の思いや思い出がより伝わるように配置したりフォントを決定したりできるように，例示するものを準備し工夫を促す。	・景観写真とそこから発想した思いが伝わるような紙面を工夫している。
1時間	7 出来上がった作品・パンフレットを見合い，感想を交流する。	・新たな気付きを取り上げ，自分たちの住むまちのよさに目が向くようにする。	・自分たちのまちのよさに気付くことができる。

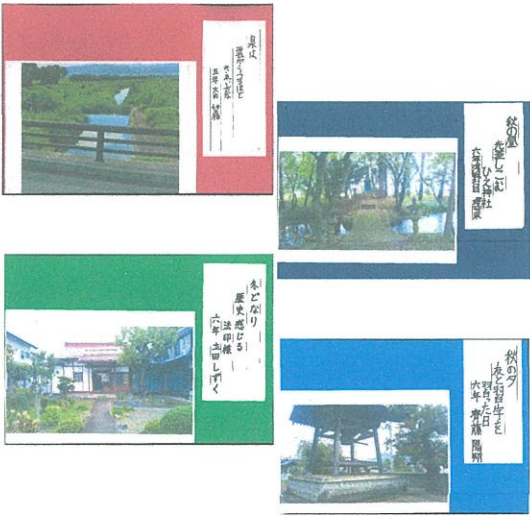
<留意点>

- ・作品パンフレットを，後輩や地域の方にも配布し，共有できるようにする。

② 事業実施報告書詳細

学校名 東根市立長瀬小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
2時間	長瀬地区	学校周辺の散策をして，友達に紹介したいと思う景観を見つける。		・6年生が中心となって，地域の方と交流しながら，地元の好きな風景を探したり，写真撮影を楽しんだりしていた。

2時間	学校	写真を元に俳句を詠む。		・自分が選んだ場所の思い出を振り返りながら，俳句を考えていた。 ・写真を撮ることで景色に意識が向いている姿があった。好きなところをこだわって探していた。
1時間		全校児童と地域の方，全員で見つけた写真と俳句が載った作品を作成する。		・全校児童分の写真&俳句を興味深そうに見たり，「ここ知ってる!」と楽しそうに話したりしていた。
1時間		修学旅行先で好きな景色を見つけて，地元と比べながら，地元のよさをさらに実感する。		・景観という視点をもてたことで，知らない土地の景色も楽しんでいた。「うわあきれい」「絶景だね」と友達と感動しながら景色を見ていた。
1時間		地元の歴史や風景を扱った劇を表現して，地域の方に発信する。		・景色を撮影して思い出に残したり印象付けたりする振り付けを取り入れ，楽しそうに劇を作り上げた。

2時間	写真や俳句を整理し、地元の魅力パンフレットの構成を考える。		・自分たちが、全校・地域を巻き込んで活動してきたこともあり、充実感と達成感を味わいながら楽しんでいった。
1時間	出来上がった作品・パンフレットを後輩や地域の方へ配布し（全戸配布、公民館にも置いていただく）、紹介と感想を交流する。	 	・下級生へ、一緒に活動してきた感謝も添えて完成したパンフレットをプレゼントした。全校みんなで作ったことで、渡す方ももらう方も嬉しそうにしていた。みんなで長瀬のよさを実感していた。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点 ・学校行事（ウォークラリー・学習発表会・修学旅行）と絡めて行った。 ・小規模校のメリットを生かし、全校を巻き込んで全校生の貢献が目に見える活動にした。 ・地域と関わりながら、一緒に地元のよさを見出した。
(2) 実施にあたり苦労した点 ・全校児童用分の写真データの整理・取りまとめ
(3) 児童の反応 ・6年生：修学旅行で、景色に目を向けて楽しんでいた。地元と旅行先との景色の違いに気付いたり、それぞれの良さを発見したり、その上で自分たちの地元をより好きになったりした。 ・5年生：田植え、稲刈り、水質調査等の活動において、学校周辺の自然の中で活動しながら、景色を意識したり季節によって変化したりする良さに気付くこともできた。 ・全校児童：地元の好きなところを探し、再確認したり新たな場所を発見したりできた。教室の窓の外からの眺めをよく見るようになったと感じる。
(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化 ・一概に景色が良いと言うのではなく、どこがどのように良いのか目を向けたり、意図的に

良くしているところが身の回りにあることに気付いたりすることができた。

- ・高学年の景観出前授業だったが、それを行事と絡めることで全校にも広げられたことで、下学年の児童が見つけた好きな景色について、他学年の教員からも景観の良さとして価値づけてもらえることもあった。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

- ・景観の定義を、教師も児童も共通理解を図る必要があった。人工物を入れる場合に、そのもの単体になってしまうと景観と言えるのか、そのものを入れたいときには撮影するときの何%以下だと景観と言えるのか、曖昧になってしまっていた。